

コンクリート構造物ひび割れ補修工法

セメンテックスRBーひび割れ補修工法  
標準施工要領書

オバナヤ・セメンテックス株式会社

## 0.2 mm未満ひび割れ補修

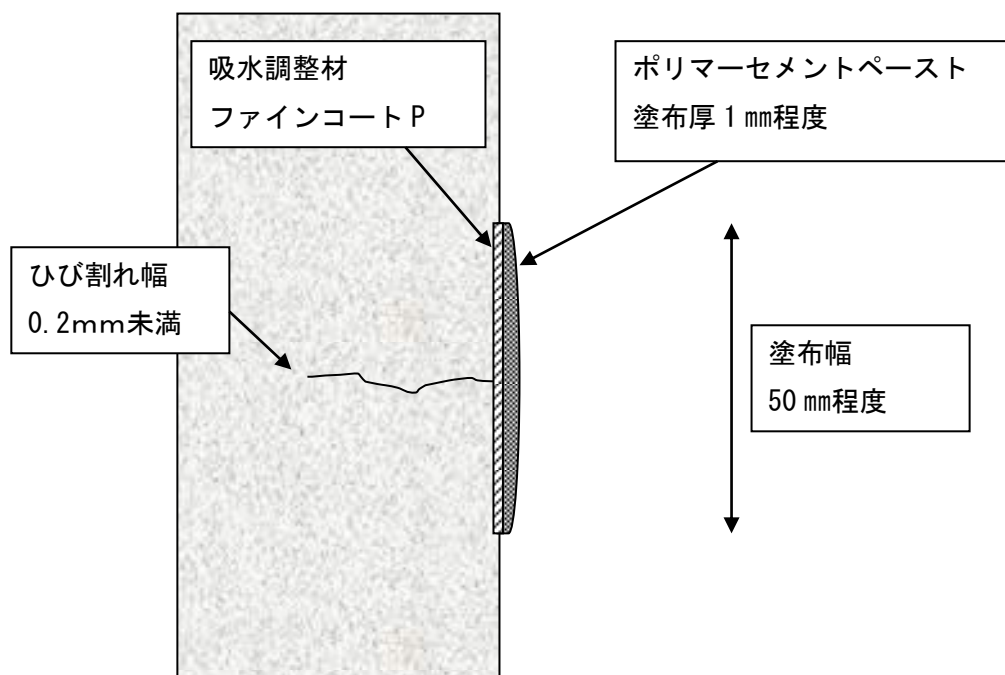
適用範囲：ひび割れ幅が0.2 mm未満の場合、ひび割れ表面を被覆する場合に適用する

### 使用材料

品名	種別	使用量
ファインコートP	吸水調整材	0.15 kg/m <sup>2</sup>
セメンテックス CMS-0 2材タイプ	ポリマーセメントペースト	塗膜厚 1 mm 1.65 kg/m <sup>2</sup> 塗布幅 50 mm 0.082 kg/m 16.5 kg ≒ 201m MS-0 (14 kg) + C-360 (2.5 kg) 調整水量除く
カチオンスターC1 1材タイプ	ポリマーセメントペースト	塗膜厚 1 mm 1.2 kg/m <sup>2</sup> 塗布幅 50 mm 0.06 kg/m 1袋 (12 kg) ≒ 200m
エラスメントSSK 微弾性 2材タイプ	微弾性表面被覆材	塗膜厚 1.25 mm 2.0 kg/m <sup>2</sup> 塗布幅 50 mm 0.1 kg/m 48 kgセット ≒ 480m

※使用材料を選択

※ひび割れの開閉や変動（進行性）がある場合はひび割れ追従性のある微弾性タイプの材料にて被覆する。



## 施工手順

①ひび割れの状況を確認し、補修材料と補修範囲を決定する。



②ひび割れを中心に 50 mm程度の表面をワイヤーブラシ等を用いて清掃する。  
既存塗膜等の浮き及び躯体の脆弱部を除去する。



③ポリマーセメントペーストを規定の配合で 3 分間十分に混練する。



④ポリマーセメントペーストを刷毛またはコテを用いて幅 50 mm、  
厚さ 1 mm程度ひび割れに擦り込むように塗布し、平滑に仕上げる



⑤ポリマーセメントペーストの養生を行う。

(養生時間 24 時間以上)



⑥硬化後、仕上げ材を塗布する。

## 0.2 mm以上ひび割れ補修

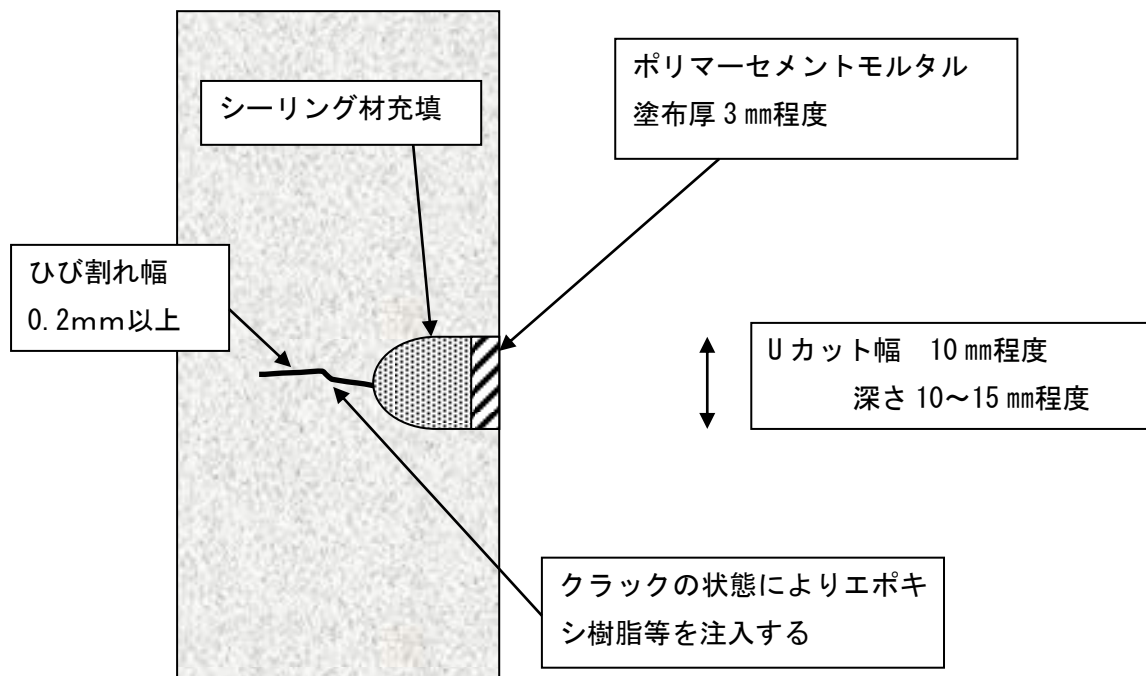
(Uカットシール材充填工法・シーリング用材料使用)

適用範囲：ひび割れ幅が0.2 mm以上の場合、ひび割れ表面を補修する場合に適用する

使用材料

品名	種別	使用量
セメンテックス CMS-2 2材タイプ	ポリマーセメントモルタル	塗膜厚 3 mm 5.4 kg/m <sup>2</sup> MS-2 (14 kg) + C-360 (1.7 kg) 調整水量除く
カチオンスターC2 1材タイプ	ポリマーセメントモルタル	塗膜厚 3 mm 4.2 kg/m <sup>2</sup> 1袋 (14 kg)

※使用材料を選択



## 施工手順

①ひび割れの状況を確認し、補修材料と補修範囲を決定する。



②ひび割れ面にUカットを入れる。

(幅 10 mm程度、深さ 10~15 mm程度にひび割れの中心を外さないようにカットする)



③Uカットした溝内部の切粉等をブラシ、刷毛、エアブラシ等で入念に除去清掃する。



④シーリング材のプライマーをカットした溝内部に均一に塗布する。



⑤シーリング材の練り混ぜ及び充填

(コーキングガンを用いてシーリング材を、充填する。また躯体表面から 3~5 mm程度低めに充填し、下地と密着させて表面を平滑に仕上げる。またシーリング表面に珪砂を散布する。)



⑥シーリング材硬化後、ポリマーセメントモルタルを規定の配合で 3 分間十分に混練し、躯体表面に合わせて塗り込み平滑に仕上げる。

※シリコン系シーリング材を使用した場合、ポリマーセメントが付着しませんのでご注意ください。



⑦ポリマーセメントモルタルの養生を行う。

(養生時間 24 時間以上)



⑧硬化後、仕上げ材を塗布する。

### 施工上の注意事項

- 気温3℃以下での施工は避けてください。施工後、凍結の恐れのある場合は、作業時間帯を考慮して保温養生を行なってください。
- 施工中に降雨が予想される場合には、施工を避けてください。また、施工後に降雨が予想される場合は施工箇所に雨がかからないように養生してください。
- 防錆材、断面修復材は、気温・通風・直射日光・施工効率を考慮して、可使時間内に使用できる量を決めて3分以上練混ぜてください。練り不足の場合、材料の粘性が発現せず所定の付着力が得られない場合があります。
- 激しい温度変化、直射日光、風などによる急激な乾燥の恐れのある場合には、通風、直射日光を避けるためにシート掛け養生などの対策を行ってください。

### 材料の保管および取り扱いの注意事項

- 材料は上屋や覆いシートなどを設けて雨や湿気がかからないようにしてください。また、床に直接置かずにパレットなどの上において保管してください。
- 開封後は出来るだけその日のうちに使用してください。使い残しが出た場合には密閉保管し、2~3日以内に使用してください。  
注) 特に試験を目的として、少量をコンクリート版等に塗る場合には必ず新しい材料を使用してください。
- 材料は、購入後3ヶ月以内にご使用ください。

※詳しくは安全データシート（SDS）をご参照ください。